

## 平成26年3月期 第1四半期決算のお知らせ

東京海上日動あんしん生命保険株式会社(社長 北沢 利文)の平成26年3月期第1四半期決算(平成25年4月1日～平成25年6月30日)については添付のとおりです。

### 1. 契約の状況(主要業績)

新契約年換算保険料は、医療保険「メディカルKit R」や法人向け定期保険の増収等により、192億円(前年同期比136.5%)となりました。

【図1①】

保有契約年換算保険料は4,825億円(前年度末比102.6%)、保有契約件数は397万件(同101.8%)となり、成長を持続しています。

【図1②】【図2】

### 2. 損益の状況

四半期純利益は、保有契約の増加に伴う保険料等収入の増収はあったものの、標準利率改定等に伴う責任準備金等繰入額の増加、代理店手数料を中心とする事業費の増加等により、前年同期比17億円減益の11億円となりました。

基礎利益は、前年同期比20億円減益の52億円となりました。

### 3. 総資産の状況

総資産は、保有契約の増加や現金担保付債券貸借取引の拡大等により、前年度末から511億円増加し、4兆6,496億円(前年度末比101.1%)となりました。

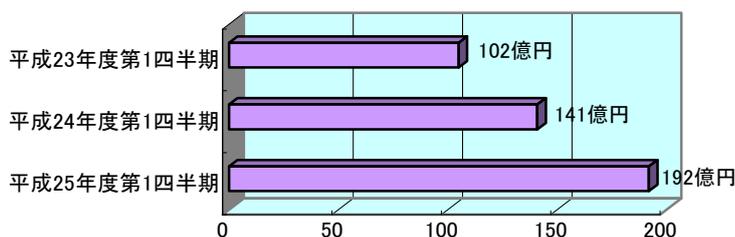
【図3】

### 4. 健全性の指標

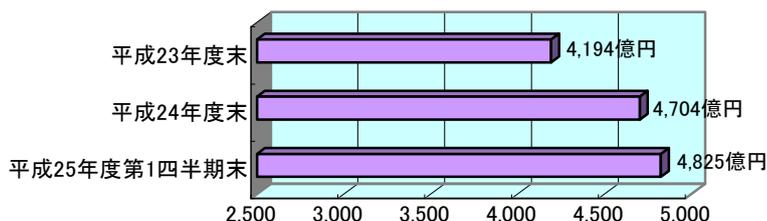
保険金等の支払能力を示すソルベンシー・マージン比率は、金利上昇に伴うその他有価証券評価差額金の減少を主因としたソルベンシー・マージン総額の減少により、前年度末比176.9ポイント低下したものの、2,018.3%と引き続き高い水準を確保しており、優れた健全性を示しています。

【図1】年換算保険料の推移(個人保険+個人年金保険)

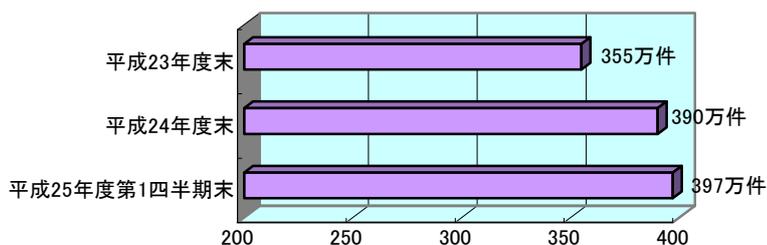
<①新契約年換算保険料>



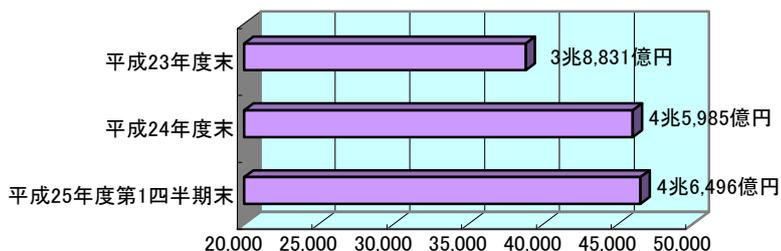
<②保有契約年換算保険料>



【図2】保有契約件数の推移(個人保険+個人年金保険)



【図3】総資産の推移



<当社の格付(平成25年8月9日現在)>

格付投資情報センター(R&I)  
スタンダード&プアーズ(S&P)

保険金支払能力格付 AA+  
保険財務力格付 AA-

## 平成26年3月期 第1四半期決算のお知らせ 目次

1. 保険業績関係	.....	P 1
保有契約高及び新契約高		
年換算保険料		
2. 四半期貸借対照表	.....	P 2
3. 四半期損益計算書	.....	P 3
経常利益等の明細（基礎利益）		
4. 資産運用関係（一般勘定）	.....	P 6
有価証券の時価情報		
デリバティブ取引の時価情報		
5. ソルベンシー・マージン比率	.....	P 7
実質資産負債差額		
6. 特別勘定の状況	.....	P 7
7. 保険会社及びその子会社等の状況	.....	P 7
8. 用語説明	.....	P 8

## 1. 保険業績関係

### 保有契約高及び新契約高

#### ・保有契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	前事業年度末 (平成25年 3月31日)				当第1四半期会計期間末 (平成25年 6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個人保険	3,602	109.6	202,179	108.3	3,665	101.7	204,032	100.9
個人年金保険	300	113.5	12,625	112.9	307	102.3	12,886	102.1
団体保険	-	-	27,013	91.0	-	-	26,208	97.0
団体年金保険	-	-	36	83.0	-	-	36	98.9

#### ・新契約高

(単位:千件、億円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)				当第1四半期累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日)			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
個人保険	102	106.8	6,082	110.3	119	116.6	5,760	94.7
個人年金保険	9	210.7	421	176.1	14	151.9	656	155.6
団体保険	-	-	38	50.8	-	-	107	278.0
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-

### 年換算保険料

#### ・保有契約

(単位:億円、%)

区 分	前事業年度末 (平成25年 3月31日)			当第1四半期会計期間末 (平成25年 6月30日)		
			前年度末比			前年度末比
	個人保険	3,886		111.5	3,976	
個人年金保険	818		115.5	848		103.7
合 計	4,704		112.2	4,825		102.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	995		114.2	1,025		103.0
うち医療・がん	819		114.6	850		103.8

#### ・新契約

(単位:億円、%)

区 分	前第1四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日)		
			前年同期比			前年同期比
	個人保険	121		133.8	160	
個人年金保険	19		161.7	32		161.4
合 計	141		137.1	192		136.5
うち医療保障・ 生前給付保障等	31		119.1	50		157.7
うち医療・がん	28		113.1	45		163.7

2. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前事業年度末 (平成25年 3月31日)		当第1四半期会計期間末 (平成25年 6月30日)		比較増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
(資産の部)		%		%	
現金及び預貯金	45,005	0.98	40,328	0.87	△ 4,677
コールローン	34,516	0.75	20,920	0.45	△ 13,596
債券貸借取引支払保証金	28,366	0.62	20,257	0.44	△ 8,109
買入金銭債権	228,974	4.98	225,975	4.86	△ 2,999
有価証券	4,127,006	89.75	4,187,785	90.07	60,779
国債	3,907,155		3,944,010		36,854
地方債	700		11,728		11,027
社債	110,421		126,380		15,958
株式	221		221		-
外国証券	108,507		105,445		△ 3,062
貸付金	65,006	1.41	65,491	1.41	484
保険約款貸付	65,006		65,491		484
有形固定資産	900	0.02	819	0.02	△ 81
無形固定資産	27	0.00	27	0.00	-
代理店貸	394	0.01	328	0.01	△ 66
再保険貸	1,957	0.04	1,742	0.04	△ 214
その他資産	51,204	1.11	55,220	1.19	4,015
繰延税金資産	15,978	0.35	31,656	0.68	15,678
貸倒引当金	△ 836	△ 0.02	△ 857	△ 0.02	△ 20
資産の部合計	4,598,502	100.00	4,649,694	100.00	51,192
(負債の部)					
保険契約準備金	3,338,037	72.59	3,391,627	72.94	53,589
支払備金	18,436		19,357		921
責任準備金	3,229,981		3,284,770		54,789
契約者配当準備金	89,620		87,498		△ 2,121
代理店借	5,808	0.13	3,993	0.09	△ 1,814
再保険借	3,006	0.07	1,673	0.04	△ 1,333
その他負債	1,066,062	23.18	1,113,134	23.94	47,072
債券貸借取引受入担保金	1,036,684		1,088,085		51,400
未払法人税等	8,556		22		△ 8,533
リース債務	230		202		△ 27
その他の負債	20,591		24,824		4,233
退職給付引当金	3,141	0.07	3,384	0.07	242
特別法上の準備金	4,369	0.10	4,469	0.10	99
価格変動準備金	4,369		4,469		99
負債の部合計	4,420,426	96.13	4,518,282	97.17	97,856
(純資産の部)					
資本金	55,000	1.20	55,000	1.18	-
資本剰余金	35,000	0.76	35,000	0.75	-
資本準備金	35,000		35,000		-
利益剰余金	15,706	0.34	5,290	0.11	△ 10,415
利益準備金	1,000		3,320		2,320
その他利益剰余金	14,706		1,970		△ 12,735
繰越利益剰余金	14,706		1,970		△ 12,735
株主資本合計	105,706	2.30	95,290	2.05	△ 10,415
その他有価証券評価差額金	71,050	1.55	36,550	0.79	△ 34,500
繰延ヘッジ損益	1,319	0.03	△ 428	△ 0.01	△ 1,747
評価・換算差額等合計	72,369	1.57	36,121	0.78	△ 36,247
純資産の部合計	178,075	3.87	131,412	2.83	△ 46,663
負債及び純資産の部合計	4,598,502	100.00	4,649,694	100.00	51,192

### 3. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	比較増減
		金 額	金 額	
経 常 収 益		144,672	167,736	23,063
保 険 料 等 収 入		123,088	141,107	18,018
(うち 保 険 料)	(	120,841)	( 138,581)	( 17,739)
資 産 運 用 収 益		20,124	25,974	5,849
(うち利息及び配当金等収入)	(	17,213)	( 18,593)	( 1,379)
(うち有価証券売却益)	(	2,906)	( 2,063)	( △ 843)
(うち為替差益)	(	-)	( 5,312)	( 5,312)
そ の 他 経 常 収 益		1,459	654	△ 804
(うち支払備金戻入額)	(	846)	( -)	( △ 846)
経 常 費 用		136,678	166,689	30,011
保 険 金 等 支 払 金		59,011	79,565	20,553
(うち 保 険 金)	(	14,950)	( 9,803)	( △ 5,147)
(うち 年 金)	(	1,315)	( 7,560)	( 6,244)
(うち 給 付 金)	(	12,515)	( 24,255)	( 11,740)
(うち解約戻金)	(	28,129)	( 35,382)	( 7,252)
(うちその他戻金)	(	282)	( 707)	( 425)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		49,186	55,711	6,524
支 払 備 金 繰 入 額		-	921	921
責 任 準 備 金 繰 入 額		49,186	54,789	5,603
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0	0
資 産 運 用 費 用		6,266	5,973	△ 292
(うち 支 払 利 息)	(	232)	( 281)	( 48)
(うち有価証券売却損)	(	201)	( 97)	( △ 104)
(うち金融派生商品費用)	(	2,047)	( 5,566)	( 3,519)
(うち為替差損)	(	3,750)	( -)	( △ 3,750)
事 業 費 用		20,826	23,836	3,009
そ の 他 経 常 費 用		1,387	1,603	215
経 常 利 益		7,994	1,047	△ 6,947
特 別 損 失		100	142	42
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 (△戻入) 額		3,340	△ 931	△ 4,271
税 引 前 四 半 期 純 利 益		4,553	1,836	△ 2,717
法 人 税 及 び 住 民 税		1,616	272	△ 1,343
法 人 税 等 調 整 額		34	379	344
法 人 税 等 合 計		1,651	652	△ 999
四 半 期 純 利 益		2,902	1,184	△ 1,718

経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	比較増減
基礎利益 A	7,260	5,255	△ 2,005
キャピタル収益	7,034	7,376	341
有価証券売却益	2,906	2,063	△ 843
為替差益	-	5,312	5,312
その他キャピタル収益	4,128	-	△ 4,128
キャピタル費用	5,975	11,427	5,452
有価証券売却損	201	97	△ 104
金融派生商品費用	2,023	6,022	3,999
為替差損	3,750	-	△ 3,750
その他キャピタル費用	-	5,307	5,307
キャピタル損益 B	1,059	△ 4,051	△ 5,110
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	8,320	1,204	△ 7,116
臨時費用	325	156	△ 168
危険準備金繰入額	321	133	△ 188
個別貸倒引当金繰入額	3	23	19
臨時損益 C	△ 325	△ 156	168
経常利益 A+B+C	7,994	1,047	△ 6,947

- (注) 1. 四半期損益計算書の金融派生商品費用のうち金利スワップ取引に係る受取・支払利息（純額）は基礎利益に含めております。前第1四半期累計期間においては24百万円の損、当第1四半期累計期間においては455百万円の益であります。
2. その他キャピタル収益およびその他キャピタル費用は、それぞれ外貨建保険商品に係る責任準備金の為替変動による減少額および増加額であり、四半期損益計算書の責任準備金繰入額に含まれております。

## 注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等関係)

### 当第1四半期会計期間末

1. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の貸借対照表計上額は1,041,705百万円です。
2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりです。

当期首現在高	89,620百万円
当第1四半期累計期間契約者配当金支払額	1,189百万円
利息による増加等	0百万円
契約者配当準備金戻入額	931百万円
当第1四半期会計期間末現在高	87,498百万円
3. 配当金支払額  
平成25年5月16日の取締役会において、以下のとおり決議しています。

配当金の総額	11,600百万円
1株当たり配当額	7,250円00銭
基準日	平成25年3月31日
効力発生日	平成25年6月14日
4. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

(四半期損益計算書関係)

### 当第1四半期累計期間

1. 1株当たりの四半期純利益は740円02銭です。
2. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しています。

#### 4. 資産運用関係（一般勘定）

#### 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	前事業年度末 (平成25年3月31日)					当第1四半期会計期間末 (平成25年6月30日)				
	取得原価	時価	差損益			取得原価	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	2,476,000	2,740,845	264,845	266,242	△ 1,396	2,583,250	2,719,495	136,245	144,654	△ 8,409
責任準備金対応債券	184,135	196,305	12,170	12,218	△ 48	178,717	187,454	8,737	9,024	△ 286
その他有価証券	1,613,098	1,715,624	102,525	102,582	△ 56	1,613,829	1,666,571	52,742	54,224	△ 1,482
公社債	1,353,629	1,455,462	101,833	101,879	△ 45	1,362,504	1,414,812	52,307	53,735	△ 1,428
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国証券（公社債）	10,494	11,186	692	703	△ 10	10,349	10,783	434	489	△ 54
その他	248,974	248,974	-	-	-	240,975	240,975	-	-	-
合計	4,273,233	4,652,775	379,541	381,042	△ 1,501	4,375,797	4,573,522	197,724	207,904	△ 10,179
公社債	3,916,444	4,288,441	371,996	373,439	△ 1,442	4,029,811	4,222,401	192,589	202,458	△ 9,869
株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国証券（公社債）	107,814	115,359	7,544	7,602	△ 58	105,010	110,145	5,134	5,445	△ 310
その他	248,974	248,974	-	-	-	240,975	240,975	-	-	-

（注）その他は、買入金銭債権等で計上されたものを記載しております。

#### デリバティブ取引の時価情報

##### ・金利関連

（単位：百万円）

区 分	種 類	前事業年度末 (平成25年3月31日)			当第1四半期会計期間末 (平成25年6月30日)				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店 頭	金利スワップ取引								
	固定金利受取/変動金利支払	393,100	393,100	3,045	3,045	393,100	393,100	△ 9,875	△ 9,875
	固定金利支払/変動金利受取	78,000	78,000	△ 3,429	△ 3,429	98,000	98,000	△ 262	△ 262
	合 計				△ 384				△ 10,138

##### ・通貨関連

（単位：百万円）

区 分	種 類	前事業年度末 (平成25年3月31日)			当第1四半期会計期間末 (平成25年6月30日)				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店 頭	為替予約								
	売建（米ドル）	185	-	1	1	174	-	△ 2	△ 2
	買建（米ドル）	309	-	△ 2	△ 2	141	-	2	2
	合 計				△ 1				△ 0

##### ・債券関連

（単位：百万円）

区 分	種 類	前事業年度末 (平成25年3月31日)			当第1四半期会計期間末 (平成25年6月30日)				
		契約額等		時価	差損益	契約額等		時価	差損益
		うち1年超				うち1年超			
店 頭	債券店頭オプション取引								
	売建								
	コール	71,030	-			89,035	-		
		(422)	(-)	2,747	△2,325	(903)	(-)	1,056	△ 153
	プット	59,810	-			122,714	-		
		(444)	(-)	138	306	(423)	(-)	285	137
	買建								
コール	59,810	-			122,714	-			
	(259)	(-)	2,071	1,812	(347)	(-)	399	52	
プット	71,030	-			89,035	-			
	(639)	(-)	101	△537	(1,106)	(-)	1,100	△6	
	合 計				△744				30

（注）1. 債券店頭オプション取引については、（ ）で契約時のオプション料を示しております。

2. 差損益欄には、オプション料と時価との差額を記載しております。

5. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	前事業年度末 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成25年6月30日)
ソルベンシー・マージン総額 (A)	483,494	448,395
資本金等	94,106	90,832
価格変動準備金	4,369	4,469
危険準備金	27,427	27,560
一般貸倒引当金	495	500
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	92,273	47,467
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	179,356	188,897
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性 資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	85,465	88,668
リスクの合計額 (B)	44,048	44,432
$\sqrt{(R_1+R_8)^2 + (R_2+R_3+R_7)^2} + R_4$		
保険リスク相当額 (R <sub>1</sub> )	13,019	12,910
第三分野保険の保険リスク相当額 (R <sub>8</sub> )	3,597	3,695
予定利率リスク相当額 (R <sub>2</sub> )	5,866	5,845
資産運用リスク相当額 (R <sub>3</sub> )	33,711	34,144
最低保証リスク相当額 (R <sub>7</sub> )	-	-
経営管理リスク相当額 (R <sub>4</sub> )	1,123	1,131
ソルベンシー・マージン比率 (C)	2,195.2%	2,018.3%
$[(A)/(B) \times 1/2] \times 100$		

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	前事業年度末 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (平成25年6月30日)
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	4,875,517	4,794,677
負債の部に計上されるべき金額の合計額 を基礎として計算した金額 (2)	4,092,680	4,198,183
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	782,837	596,494
満期保有目的の債券・責任準備金対応 債券の含み損益 (4)	277,015	144,982
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	505,821	451,511

6. 特別勘定の状況

該当ありません。

7. 保険会社及びその子会社等の状況

当社は子会社を1社有していますが、その資産、売上高等からみて、当企業集団の財政状態と経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいことから、当社では連結財務諸表を作成していません。

## 8. 用語説明

「保険業績関係」(P 1)

### ●保有契約高

- 個人保険および団体保険

期末時点で保有している契約に係る死亡時における支払金額等の総合計額。

- 個人年金保険

期末時点で保有している契約のうち、年金支払開始前の契約については年金支払開始時における年金原資の額、年金支払開始後の契約については責任準備金の額。

- 団体年金保険

責任準備金の額。

### ●新契約高

- 個人保険および団体保険

当年度に引き受けた契約に係る死亡時における支払金額等の総合計額。

- 個人年金保険

当年度に引き受けた契約に係る年金支払開始時における年金原資の額。

- 団体年金保険

第1回収入保険料。

### ●年換算保険料

各契約の全期間の払込保険料総額（一時払契約については一時払保険料）を保険期間等で除して1年あたりの保険料に換算した金額。

### ●医療保障・生前給付保障等

医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する保障。

「ソルベンシー・マージン比率」(P 7)

### ●ソルベンシー・マージン比率

- 保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払等に備えて準備金を積み立てていますが、巨大災害の発生や、保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

- こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」（表の(B)）に対する「保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわちソルベンシー・マージン総額：表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「ソルベンシー・マージン比率」（表の(C)）であります。

- 「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

- ① 保険引受上の危険（保険リスク・第三分野保険の保険リスク）： 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険
- ② 予定利率上の危険（予定利率リスク）： 運用環境の悪化等により、実際の運用利回りが保険

料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険

- ③ 資産運用上の危険（資産運用リスク）： 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
  - ④ 最低保証に係る危険（最低保証リスク）： 特別勘定を設けた保険契約のうち保険金等の額を最低保証するものについて、保険金等を支払うときにおける特別勘定に属する財産の価額が、最低保証する保険金等の額を下回る危険であって、特別勘定に属する財産の通常の予測を超える価額の変動等により発生し得る危険
  - ⑤ 経営管理上の危険（経営管理リスク）： 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～④以外のもの
- 「保険会社が有している資本金・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、保険会社の資本金等（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
  - ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

#### ●実質資産負債差額

実質資産負債差額とは、有価証券や不動産の含み損益等を反映した、いわば時価ベースの資産の合計から、価格変動準備金や危険準備金等の資本性の高い負債を除いた負債の合計を差し引いて算出するもので、保険会社の健全性を示す行政監督上の指標のひとつであります。（P 7の表ではこれを「実質資産負債差額A」と表記しております。）

また、「実質資産負債差額A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したものを「実質資産負債差額B」とし、併せて同表に記載しております。